



## 第 1725 回例会

平成 24 年 11 月 12 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

### 1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「我等の生業」  
 3. ビジター紹介 海南 RC 中村 哲三 様  
 4. 出席報告  
     会員総数 55 名 出席者数 33 名  
     出席率 60.00% 前回修正出席率 67.27%

### 5. 会長スピーチ



会長 花田 宗弘 君  
 国際奉仕関係で北中ガバナーが海外の学校に日本をもっと知つてもらうために日本を紹介する本を寄贈するプログラムを(1クラブ10万円の支援)提案してくれました。当クラブは以前よりフィリピンの学校にコンピューター他を支援している関係からこのプログラムに応募したところ賛同をえましたので報告いたします。

先週7日から10日まで林さん、阪口さんと一緒に熊野古道小辺路を歩いてきました。ご存知のように熊野古道には熊野大社に向かって大辺路、中辺路、小辺路等がありますが、小辺路は高野山から出発する南北の約70kmの長い道のりです。途中1,000mを越す峰が3つもあります。丁度紅葉がきれいな時期で、天候にも恵まれ道中ずっと紅葉を見ながら歩くことが出来ました。毎日約20kmを歩く3泊の旅でしたが途中で泊まった民宿は近くに温泉もあり、皆親切で郷土色豊かな美味しい料理を出してくれました。しかし昨年の水害の傷跡が深くまだいたる所で修復工事が見られ、川底も土砂が積もって浅くなり、鮎やアマゴも登ってこなくなり、いつ帰ってくるのか目途が経たないと嘆いていました。熊野古道によく対比されるのがスペイン北部の巡礼道「サンチャゴへの道」があります。先日私の友達が行ってきて報告してくれました。30日の予定で行ったのですが全長780kmもあり、毎日20~30km歩いても2/3しか歩けず疲れきって帰ってきました、来年残りを挑戦すると言っていました。世

界中から巡礼者が来て歩いているそうです。緯度が高く日が短いため、朝はヘッドラップをつけて出発し午後2時頃巡礼者用の宿について洗濯し食事を自分で作って他の人と一緒に寝袋で雑寝だそうです。熊野古道の民宿とは大分様子が違う様です。

### 6. 幹事報告

- 幹事 中西 秀文 君  
 ○例会臨時変更のお知らせ  
     那智勝浦 RC 11月22日(木)→11月22日(木)  
     12:30~ 「大門坂」石碑前  
     (石碑周辺の清掃の為)  
     有田南 RC 11月27日(火)→11月23日(金・祝)  
     「神戸方面」家族親睦旅行  
 ○休会のお知らせ  
     粉河 RC 10月31日(水)  
     海南西 RC 11月29日(木)  
 ○R L I 研修リーダー認定セミナー申込  
     日時 2012年12月22日 9:00~16:00  
     場所 スターゲートホテル関西エアポート  
     研修リーダーの認定を受けたい方は11月30日まで、ガバナー事務所まで申し込んでください。

### 7. 会員卓話

- 米山記念奨学会委員長会議の報告



委員長 桑添 剛 君  
 報告の前に前回の夜間例会で当クラブの山東さんが米山奨学金の高額寄付金達成で表彰されました。ロータリーの基本理念に職業を通じて奉仕するとありますが、正にそのとおりです。私が日頃、感じている山東さんのイメージどおりで、大変、感銘いたしました。しかも、私が委員長の時に表彰され、感謝しています。

去る9月1日、私の67歳の誕生日の日に、サンルート関空で開かれた委員長会議に出席してまいりました。前回4月15日スターゲートホテル関西エアポートで行われた地区協議会では、ちょうど家内との結婚記念日の前日で、会議が終わってからそのまま白浜へ直行したのを覚えています。また、4月の時は居眠りをしていて、林さん、宮田さんに起こされ、びっくり

四つのテスト 善行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか  
 ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花田 宗弘 幹事：中西 秀文 SAA：那須 正志

りしたのも思い出しました。多分、いびきをかいていたのだと思いますが、その節はご親切に起こして頂きありがとうございました。おかげさまで、今回は海南3クラブから出席したのは私だけでしたし、報告もあるだろうと思っていましたので一睡もしませんでした…。というより出来ませんでした。私もロータリーに入つて26年目になりますが、正直言つて、米山記念奨学会については認識不足でした。米山については、日本に在留している外国人の留学生に奨学金を支給支援し、ロータリー財団は日本から外国に留学する留学生に奨学金を支給支援することぐらいしか知りませんでした。そこで、今回は委員長会議に出席して、少し勉強させて頂きました。

私同様、認識不足の方もいられるかもしれませんので、確認の意味でも少し触れてみたいと思います。ロータリー米山記念奨学事業豆辞典を見ればすぐご理解できると思いますが、なかなか読まれないと思いますので、まず、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会とは、日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し、支援する民間の奨学団体です。ポイントは、日本の全ロータリー34地区が共同で作り運営する奨学財団ということです。米山悔吉氏の名前を冠していますが、米山家の資産を基に作られた財団ではありません。理事会は、全34地区から選出された理事で構成されています。ちなみに当地区の理事は米田真理子バストガバナーがなっています。また、奨学金の支給対象は、日本の大学、大学院で学ぶ外国人留学生です。当地区では、財団の日本人留学生の奨学金支給制度を休止しているので、それだけに、米山記念事業により力を入れて下さいとのことでした。

米山記念奨学事業の特長として、世話クラブ、カウンセラーモードがあります。奨学生の一人ひとりに地区的ロータリークラブから世話クラブが選ばれ、更にそのクラブの会員の中からカウンセラーが付いて奨学生との交流を深め、彼ら彼女らの日本での生活が心豊かなものになるよう配慮しています。我々の東クラブでは、和犬の中国人留学生の代向斐さんを受け入れ、カウンセラーとして那須さん(SAA)がお世話されています。奨学生は、ロータリアンとの交流を通じて奉仕の精神に触れ自らの精神を磨いて、人生観、職業観を深めます。将来母国に戻つてその発展に尽くす人、母国と日本の架け橋として活躍する人、世界平和と国際理解のために貢献する人になると期待されています。とにかく、世話クラブ、カウンセラーモードは、米山記念事業の真髄だということです。全国の年間の奨学生採用数は約800人で、次年度当地区では24名決定しています。会議は、北中ガバナー、米田理事、谷野地区米山記念奨学委員会委員長、西村米山選考小委員会委員長、坂本地区米山学友小委員会委員長、塩路地区米山寄附増進小委員会委員長の卓話があり、次いで、米山奨学生の和犬留学生、ドゥアンビラーピッタワン君の卓話があり、その卓話にはとにかく感銘しました。終わってから、各クラブ、田辺、新宮の遠くのクラブまで卓話の予約がなされていました。和歌山西クラブ

が世話クラブで、彼を通じてラオスのRCとの交流を深め奉仕活動をしているとのことです。今回、できれば、私の報告よりも彼を連れて来て卓話をしてもらった方が米山記念事業の真髄がよりご理解されるのではないかとさえ思いました。

最後に、AからFまでテーブルに別れてテーブル会議があり、議題は「米山事業について」がありました。会議の後、各テーブルからそれぞれの発表をせよということで、悪いことに私が当たってしまい代表して発表させて頂きました。私のFテーブルの意見としては、東日本大震災で進学できない学生が多いと聞くので、日本人にも手を差し伸べたらどうか?とか、中国、韓国、台湾に偏りすぎている、特に中国が多すぎる。地区的奨学生の半分以上は中国人が占め問題だ、他の国にもっと広げていくべきだという意見と、日本をもつともっと理解してもらうために10年20年を見据えて、辛抱してお世話しようという意見もありました。また、お世話した学生が日本で就職している人が多いが、早く母国に帰り日本との架け橋になって欲しいとか、御礼の言葉も無い留学生が多いという意見もありました。それから、一人20,000円の目標達成率はどうなっているかとかありましたが、幸いな事に私共の東クラブは11,965円(前年度)で、まず、ほっとした感じでした。最後に、今年も前年並み以上に達成できますように、皆さま方の御協力お願い致します。

#### ○職業奉仕委員長会議の報告

委員長 倉橋 利徳 君

9月22日(土)に和歌山市にあるアバローム紀の国でクラブ職業奉仕委員長会議があり、出席しましたので報告させて頂きます。まず、北中ガバナーより挨拶があり、続いて地区職業奉仕委員長の田原サヨ子さんより挨拶がありました。ただ具体的な方向性は示されず、職業奉仕の原点にもどり職業奉仕について思うことを小グループに分かれて討論してくださいと説明されました。そのまとめをグループの代表者が発表するよう指示がありました。1ダループが6~7人の構成で役員の方が1人加わっていました。全部で10班ありました。続いて地区職業奉仕委員の豊澤浩氏より、職業奉仕についての説明がありました。



ロータリーの樹をまず説明され、職業奉仕はまさの根幹であり、職業業務を通じて社会に奉仕する。個人がするものであるとの説明がありました。職業奉仕は漠然としていて難しいなどの話があり、その後職業奉仕とはなにか、社会奉仕との違いはなにか、職業奉仕の任務はなにかについてグループ討論することになりました。なにもわからない自分は、小グループに分けられ時はまずいなと思いましたが、いざ話が始まると他のクラブの人たちも「急に討論といつても困るよねとか、職業奉仕は難しいよね」とか話題がでて少しほとしました。自分たちのグループに恵友病院の川嶋先生がいて、職業奉仕とは漠然と仕事をするのでは



のフォーラムが脚光を浴びるように跳躍し、旅の次のステップのために自分の夢を共有することが、次世代のリーダーを奨励している。

## ロータリー世界平和フォーラム 広島(日本)

“平和はあなたから始まる” (Peace Begins with You)

2013年5月 17~18日

<http://www.info-hiroshima.co.jp/peace/>

2012-13 年度の

田中 RI 会長の  
テーマは「奉仕  
を通じて平和  
を」です。

広島では「平和はあなたから始まる」(Peace begins with you)をテーマに、特に新世代に焦点を当て、多様な新世代の参加者(※1)を迎えて、ロータリアンとともに、平和への日常的な意識と行動に種火を点火し、次の時代に行動を引き継いでいく出発点とすることを目指します。

日本人として 3 人目の R I 会長である田中作次会長が強い思いを込めて開催される日本でのフォーラムです。国内の全てのロータリアンのご協力をお願いします。



## ロータリークラブと地区による 平和活動

2012-13 年度、クラブと地区は、さまざまな方法で、地元で「奉仕を通じて平和を」推進することができます。以下の推奨活動の中にある活動を行い、平和をクラブと地区の奉仕活動の優先の一つとしていただけるようお願ひいたします。地区ガバナーは、地区大会での討論の主な主題として、平和を取り上げるよう奨励されています。

## 地区平和賞

地区ガバナーは、2012-13 年度に平和フォーラムや平和関連のプロジェクトを実施し、成功したクラブに対し、「地区平和賞」を贈るよう奨励されています。RI は、ガバナーが使用するクラブ贈呈用表彰状のテンプレート(ひな型)の電子ファイルを提供します。ガバナーはこれを用いて、年度中に平和推進に貢献したクラブを表彰することができます。

## リスボンで開かれる 2013 年 RI 国際大会 での表彰

地区ガバナーは、年度内に最も優れた平和推進活動を行ったクラブの活動内容の簡単な説明をお知らせください。その中からいくつかの活動事例を [www.rotary.org](http://www.rotary.org) で紹介します。さらに、2013 年 4 月 15 日までに提出されたクラブ平和推進活動の中から、最も優れた活動が選ばれ、リスボン(ポルトガル)で開かれる 2013 年 RI 国際大会の壇上で表彰されます。

2月23日、世界理解と平和の日（初のロータリークラブ会合の記念日）に併せて平和活動を計画することをご検討ください。

- クラブや地区の平和フォーラムを開催する地域でフォーラムを開き、ロータリアンではない市民を招きます。以下は、テーマの推奨項目です。
- フォーラムの開催日は、3回のロータリー世界平和フォーラムと同じ週とし、同じテーマを取り上げます。
- 平和に焦点を当て、紛争の仲裁と解決の機会について話し合います。
- 地域の少数派グループ(民族や宗教上の少数派など)をフォーラムに招き、新たな友情と協力関係を生み出します。
- 地元団体と協力して、地域における平和と紛争予防のための合同推進プロジェクトを実施します。
- ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、RYLA 参加者を招いてフォーラムを開き、毎日の生活の中で平和を推進するよう呼びかけます。
- 非行による暴力やいじめなど、争いの原因に青少年が対処できるよう支援する方法を話し合い、アイデアを交換し合います。
- 地域に貢献している移民たちに対し、公に感謝の意を示します。
- 地域平和フォーラムを開催する地元自治体をはじめとする地域団体と協力し、公共イベントを企画し、世界理解と平和の推進におけるクラブの取組みを象徴するようなイベントを開催します。都市の平和および安全な地域社会と学校に関連する問題についての討論会を開きます。
- 国際双子クラブによる協力関係を結ぶ海外のロータリークラブと関係を結ぶことによって、世界理解と平和を推進します。双子クラブによる協力を通じて、政府や市民の緊張状態にある国家間の壁を取り去ります。既に他クラブと双子クラブの関係を結んでいる場合、2国間の平和的関係を推進するための合同プロジェクトを実施します。詳細は [www.rotary.org/ja/makeconnections](http://www.rotary.org/ja/makeconnections) をご覧ください。
- ロータリー平和フェローを推薦するロータリー平和センターに留学するフェロー(毎年最高 100 人、世界選考によって選ばれる)は、日々の生活やキャリア、奉仕活動を通じて、国家間または国際的な協力と平和を推進し、紛争解決に貢献する明日のリーダーとなる人々です。
- 紛争の根底にある原因に取り組む奉仕プロジェクトを支援する紛争や戦争の根底には、感染病、非識字、飢餓、貧困、天然資源の不足といった理由が潜んでいます。地域に存在するこうした問題に取り組むプロジェクトを計画し、国際プロジェクトで他国のクラブと協力します。